

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県大牟田市

本事業の担当部局名 保健福祉部子ども未来室子ども育成課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1_1_3 出合いの機会・場の提供に関する取組							
個別事業名	大牟田市おおむた縁結び支援事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	平成28年度			
総事業費(A)(円)	5,789,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	5,789,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,767,506							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	4,100,000	0	0	137,000	0	
	対象経費支出予定額	0	4,078,506	0	0	137,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	21,494	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	52,000	0	1,500,000	5,789,000		
	対象経費支出予定額	0	52,000	0	1,500,000	5,767,506		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	21,494		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の合計特殊出生率は直近5年で1.63から1.41に低下し、コロナ禍以降は出生数と婚姻件数がさらに減少。令和6年度実施のアンケート調査では、若者は53.7%が将来的に子が欲しい一方、「結婚相手に出会うか不安」の悩みが最も多い(42.5%)。また、未就学児がいる世帯は35.8%が次の子を欲しい一方、「上の子がいながら育てるのが不安」の悩みが経済的負担に次いで多い(39.9%)。そのため、出会い・結婚応援をさらに拡充するとともに、まち全体で結婚や子育て、こどもを応援する環境づくりを推進する。</p> <p><本個別事業の位置付け> 出会いの場を創出するため、市内の民間事業者や団体との官民連携により、市民にとってより魅力的な婚活イベントを実施する。 あわせて、婚活イベントと連動して結婚や婚活に係るセミナーを実施することで、より多くの参加者を確保するとともに、イベント前の気運の醸成も図る。</p>						

	番号	項目	内容
個別事業の内容	1	婚活イベントの開催	<p>民間事業者や団体が主催する婚活イベントに対して補助金交付と後援を行う(年間5回)。イベント開催にあたっては、民間同士の相互連携と市との官民連携により周知等の協力を行う。また、イベント参加者へ結婚相談員による個別相談の案内なども行う。</p> <p>○婚活イベントへの補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数: 20~40人程度(男女各10~20人)×5回 計150人程度 ・内容: 実施主体の創意工夫により、ゲームやスイーツを楽しみながら、男女での会話等を通して仲を深める婚活イベントを実施 ・対象: 概ね20~40歳位の独身者 ・補助対象者: 市内で婚活イベントを開催する市内の民間事業者や団体等 ・補助対象経費: イベント開催に要する経費(司会への報酬、広告料、消耗品費等)※参加者の飲食代等は対象外 ・補助額: 上限30万円(補助率4/5)×5団体 <p>○周知・広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや年間を通じた取組「loveおおむた」のチラシ配布やポスター掲示、市広報紙、市HP・SNSなど <p>○補助事業を実施する事情</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石炭産業の縮小、三井三池炭鉱閉山で地域経済が大きな影響を受け、S30年代に20万人以上だった本市の人口は約10万人と半減。少子高齢化は国より20年先行し、財政状況は厳しい ・H22~29年度までは結婚サポートセンターを運営し、市主催(委託)で婚活イベントを実施(単年予算平均約500万円)していたが、H28年度から民間資金や活力を活かすため、市主催に加えて民間補助を開始 ・市主催と民間補助のカップル1組誕生あたりの費用やイベント1回あたりのカップル組数などを比較し、民間補助の方が費用対効果が高かったため、市主催を廃止 ・R元年度からは補助金交付のみでなく、官民が参画するloveおおむたプロジェクトを立ち上げて連携を深め(月1回程度の定例会、各イベントの実施時期調整、イベント内で市主催セミナーや市作成アンケートの実施、アンケート結果のフィードバック、主催団体でないメンバー(市含む)が当日の挨拶や運営を補助等)、イベント回数や参加者数、カップル成立数の向上を図っている経過がある ・民間補助より費用対効果が低いと判断した経過があるとともに、これまで培った官民連携の関係を崩しかねないため、市主催での実施が難しい状況 ・民間主体の取組への官民連携を継続することで、結婚に温かい社会づくり・気運醸成への寄与も期待できる
	2	結婚や婚活に係るセミナーの実施	<p>官民連携で実施する婚活イベントと連動して、主にイベントの参加者などを対象に結婚や婚活、異性とのコミュニケーション等について学ぶことができるセミナーを実施する。</p> <p>セミナーの講師については、福岡県との連携により、派遣してもらう。婚活イベントの実施主体と連携し、周知や参加促進に取り組む。また、婚活イベントと連動することで、セミナーの参加者のより多くの確保や、イベント前の気運醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加予定者数(定員): 30人程度×2回 ・対象: 概ね20~40歳位の独身者等 ・内容: 講師による講演。結婚まで必要となる行動や考え方、婚活で活かすことができる身だしなみやコミュニケーション等について講話してもらう。
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より参加しやすいイベントとなるように、参加者にアンケートを実施し、イベント内容の魅力向上や効果的な周知となるようにブラッシュアップを重ねている。 ・市の出会い応援事業の「loveおおむたプロジェクト」に関するHPやチラシを作成し周知を行うことで、イベント募集時のみでなく通年で本事業を調べたり、知ってもらえるようにしている。 			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		合計特殊出生率の上昇		%	1.42以上 (R10年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.28 (R6年度)	
	婚姻件数		件	287 (R6年度)	
婚姻率			2.8 (R6年度)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	婚活イベント及びセミナーの参加者数	人	210 (R8年度)	213 (R7年度見込)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	76 (R7年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	73 (R7年度見込)
③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—	
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					